



文教大学

文学部

日本語教員養成コース

ことばと文化、

心を伝え合う



文教大学の日本語教員養成コースについて

～実践を重んじた日本語教育の学びの場～



文学部 外国語学科
日本語教育研究室 主任 福田 倫子

文教大学の日本語教員養成コースは、1987年に文学部の発足と同時に作られました。文学部に所属する日本語日本文学科、英米語英文学科、中国語中国文学科、外国語学科の学生は、いずれもこのコースを履修することができます。

1年次では日本語教育の基礎、2年次では教え方の基礎、3年次では教え方の実際を学び、そして、4年次ではより高度な実践を通して、日本語教師として必要な資質を磨いていきます。本コースに登録し、授業を履修することによって「1級（主専攻）」「2級（副専攻）」「2級」のいずれかの資格を取得することができます。

本学の特色は日本語教育実習を重視していることで、3年次にシドニー大学実習、中国実習、4年次には本学の留学生別科、韓国極東大学校の研修生を対象とした実習があります。また、地域の外国人を対象とした本学主催の「外国人のための日本語講座」（夜学）や、地域の日本語ボランティア教室である「まつぶし日本語ひろば」などの実践の場が設けられています。中国実習は、2009年度から毎年、国際交流基金の「大学連携日本語パートナーズ派遣プログラム」等に採択されています。

日本語教育を学んでいる学生たちは、課外活動として国際交流の部活に参加したり、中学・高校での外国人生徒への日本語ボランティア、地域の日本語教室のボランティアなどに参加したりして、外国人との交流を深めています。このような活動が将来、日本語教育に携わっていく上で、とてもプラスになっています。

日本語教育の魅力は、グローバル化した現代社会において、世界中で活躍できることです。また、さまざまな文化背景を持つ人たちとの「出会い」の中から日本語や日本を見つめ直し、新たな気づきや発見をし、人間的にも成長することができます。異文化を理解し、受け入れていくことは自己の成長の証でもあります。

本学はこれまで建学の精神である「人間愛」に根ざした教育を行ってきました。人間愛とは、人と人との互いに認め合い、すべての人をかけがえない存在として大切にすることです。本コースはこのような教育理念に根ざした豊かな人間性を育て、国内外に300名以上の日本語教師を輩出してきました。現在、卒業生たちは世界の各地で活躍しています。

基礎科目から実習科目まで充実した授業内容

日本語教員養成コースでは、日本語教員養成において必要とされる教育内容を基礎的な科目から海外実習まで段階的に幅広く開講しています。取得した単位数によって日本語教員「1級（主専攻）」「2級（副専攻）」「2級」のいずれかの資格を取得することができます。「1級（主専攻）」と「2級（副専攻）」は国によって定められた基準を満たしています。

	日本語教員1級 （主専攻）	日本語教員2級 （副専攻）	日本語教員2級
必要単位数	46	26	26
実習の有無	有	有	無

学習領域	開講科目	学年
言語に関わる領域	日本語教育概論Ⅰ	1
	日本語教育概論Ⅱ	1
	日本語教育学Ⅰ	1
	日本語教育学Ⅱ	1
	日本語教育学Ⅲ	1
	日本語教育学Ⅳ	1
	日本語教育学Ⅴ	2
	対照言語学Ⅰ	2
教育に関わる領域	対照言語学Ⅱ	2
	日本語教育法Ⅰ	2
	日本語教育法Ⅱ	2
	日本語教育法Ⅲ	3
	音声教育法	3
	文章教育法	3
	日本語教育特講Ⅰ	3
	日本語教育特講Ⅱ	3
	日本語教育事情	2
	日本語教育教材研究Ⅰ	2
	日本語教育教材研究Ⅱ	3
社会・文化・地域に関わる領域	日本文化基礎Ⅰ	1
	日本文化基礎Ⅱ	1
	言語と社会Ⅰ	2
	言語と社会Ⅱ	2
	言語と心理Ⅰ	3
	言語と心理Ⅱ	3
実 習	日本語教育実習Ⅰ	3
	日本語教育実習Ⅱ	3
	日本語教育実習Ⅲ	4
	日本語教育実習Ⅳ－(1)	4
	日本語教育実習Ⅳ－(2)	4
	日本語教育実践Ⅰ	2
	日本語教育実践Ⅱ	2

日本語教育学の各授業では日本語教育に必要な基礎的な項目を網羅的に学びます。

日本語教育法の各授業では具体的な授業の進め方などを学びます。

日本文化基礎では日本を外から見る視点を養います。

日本語教育実習Ⅰ、日本語教育実習Ⅱは海外の大学で実習をする授業です。

卒業生の主な就職先（学部・大学院修了後の赴任校）

中国	西安外国語大学、洛陽外国語学院、国立華僑大学、吉林大学、上海大学、西安交通大学、広東商学院、重慶外国語学院、ハルビン理工大学、鄭州大学西亜斯国際学院、中南民族大学、厦門理工学院、蘭州大学、山東大学威海分校、武漢職業技術学院、中南財經政法大學、寧波職業技術学院、東北師範大学人文学院、武漢商業服務学院、浙江越秀外国語学院、福州外国語学校、深圳外国語学校、上海市旅游服務職業技術学校、上海甘泉外国語中学、中山市外国語学校など
台湾	中華語文研習所、余氏外国語学院、東漢日語文化中心、台北東橋日語、台湾 YMCA など
韓国	極東大学校、釜山外国語大学、釜山女子大学、ソウル高校、中央大学校日本語学院、釜山TIME外国語学院など
ベトナム	HUE大学、HO CHI MIN CITY大学、国立人文社会科学大学、HUNG VUONG 大学など

タイ	チェンマイ大学、シーナカリン ウィロート大学、ナコンシータマラット ラチャバシット大学、Suan Dusit Rajabhat 大学、Trian Udom Suksa School of the South など
ロシア	ジノサハリンスク教育大学、ハバロフスク日本センター、極東国立人文大学など
マレーシア	マラヤ大学、マラヤ工科大学、マレーシア大学ベルリス校など
その他の海外	インドネシア、スリランカの日本語教育機関、ニュージーランド、オーストラリア、アメリカ、ブラジルなどの大学や中・高校にティーチング・アシスタントとして派遣など
日本	神田外語学院、中央文教学院、東瀛日本語学院、静岡日本語教育センター、東京城北日本語学院、秀林外語専門学校、淑徳日本語学校、日中学院、KAI 日本語スクール、東京教育専門学院、江戸カルチャーセンター、玉川国際学院、国際ことば学院、早稲田文化館、専門学校インターナショナル・スクールオブ・ビジネス、フジ国際語学院、東京日本語研究所、Fuji language school、京進ランゲージアカデミー、ISI日本語学校など そのほか、市の教育委員会や国際交流協会、企業内社員日本語教育など

実習を体験する場が充実

5つの科目が用意されています

文教大学では、卒業後すぐに日本語教育現場に立てる人材育成に力を入れており、海外、国内（学内）、地域など、様々な実習の場を経験することができます。

日本語教育実習Ⅰ（海外）－オーストラリア シドニー大学

日本語教育実習Ⅱ（海外）－中国 東北大学秦皇島分校

日本語教育実習Ⅲ（学内）－韓国 極東大学校の研修生受け入れ

日本語教育実習Ⅳ（学内）－外国人留学生別科

日本語教育実践Ⅰ・Ⅱ（地域）－外国人のための日本語講座・まつぶし日本語ひろば

シドニー実習（日本語教育実習Ⅰ）

8月下旬から9月上旬にかけて、ホームステイをしながらオーストラリアのシドニー大学の正規授業に入り、日本語を教える研修です。現地での実習は2週間ですが、研修の準備は前年度から始まり、「日本語教育教材研究Ⅰ」で現地で使用する教材について学びます。そして「日本語教育実習Ⅰ」では、オーストラリアに関する学びを深め、教案作成や模擬授業を重ね、教壇実習の準備を行います。授業は日本語で行う直接法が中心ですが、日常生活では英語が必要になります。ホームステイ先や現地の学生との交流で異文化理解を深めることもできます。帰国後は振り返りと報告を兼ねた報告書や動画の作成、学園祭での発表などを行います。大変な分、実りも大きい研修です。



▲ 授業風景



◀ 授業風景



▲ オペラハウスとハーバーブリッジを背景に

シドニー実習は、約2週間ホームステイをしながら、シドニー大学の学生に授業を行います。実習期間中は、日本語教育の経験を積むだけではなく、何も知らない土地で、あまり知らない言葉で生活することの大変さや不安さも知ることができます。また、ホストファミリーや現地の学生との交流が多く、自分の視野を広げるきっかけが作れると思います。一度に多くの経験ができる実習なので、日本語教育に携わりたい人も、そうでない人も、ぜひ参加してみてください。

(2020年度英文卒 日野原未来)



シドニー大学で ▶

中国実習（日本語教育実習Ⅱ）

30年以上の歴史を持つ伝統ある海外実習です。2月下旬から3月上旬の約2週間、中国の東北大学秦皇島分校で実習を行います。1学期間に準備した成果を出し切る2週間です。何度も教壇に立つハードな研修ですが、週末には市内見学などもあり、万里の頂上の東端「山海関」や有名なリゾート地「北戴河」などを散策します。現地の学生との交流も多く、内容の濃い充実した研修だと評価されています。

中国実習では、中国の大学へ行き日本語の授業を行います。現地へ行く前の準備は、使用する教科書の分析から始まります。そして教案づくりをし、模擬授業を行い意見交換して授業を作り上げていくため、未経験の方でもこの実習を通してとても力が付きます。中国の大学では2週間の日本語の授業のコマを実習生で分担して授業を行います。授業後に毎回反省会をし、改善点を次の授業に反映させていくため自分や実習生の成長を感じられます。また中国の学生と休日に観光や買い物を通して交流をすることで、新たな発見や学びがあり貴重な経験をすることができます。

(2018年度日文卒 深澤佳歩)



▲ 授業風景



▲ 授業風景



▲ 秦皇島分校準備室で



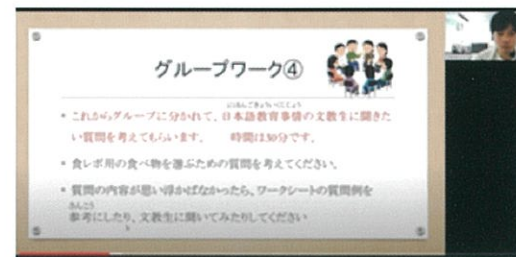
▲ 茶道の実演



◀ 北戴河にて

韓国極東大学校日本研修（日本語教育実習Ⅲ）

韓国極東大学校の学生たちが来日して行う日本研修プログラム内で、2週間の日本語の授業を実習生が担当します。教科書を使った授業ではなく、プロジェクトワーク型授業を行うのが特徴です。学習者の来日前から学習者の情報等を収集してプロジェクトを設定し、研修の細かな計画を立てます。来日後はプロジェクトワークで使用する語彙や表現を導入したり、活動がうまく進むようサポートしたりします。日本語の教え方だけではなく、ファシリテーターとしての学びも多い実習です。



▲ オンラインでの授業風景



学校紹介動画の作成 ▶

極東実習では、韓国極東大学校の学生たちと日本文化に触れながら様々な活動を行います。日本語能力レベルに幅がある学生たちのために、自分たちで一から授業を作ることができるため、多様な日本語指導力を養うことができます。また学生たちとは、授業内だけでなくプライベートでの交流も多く、彼らの成長を近くで感じ取ることができるため、とてもやりがいのある実習となっています。日本語教育を通じて、文化交流を行うこともできるので、日本語教師を目指す人はもちろん、国際交流に興味のある人は、ぜひ参加してみてください。

（外国語4年 久保田湧士）

別科実習（日本語教育実習Ⅳ）

文教大学の外国人留学生別科の学生に日本語を教える実習です。90分授業のうち前半45分で教壇実習を行い、後半45分は振り返りと次回の検討を行います。海外研修とは違って学習者の母語はさまざまです。同じキャンパスにいたので、実習以外でも交流できる環境です。

別科実習では、文教大学外国人留学生別科の学生に対して授業を行います。教案の作成から始めて実際に教壇に立つて行う実習授業まで行うため、一年を通して別科生の成長と自分の成長を肌で感じることができるのがこの授業の喜びです。授業ではうまくいかないこともあります。授業後に実習生同士の意見交換や先生からご指導頂くことで、改善点が明確になり、次回の授業に活かすことができます。毎回の授業で学びや気づきがあるので、日本語教師を目指す人にはお勧めです。別科生との距離も縮まり、授業外でも交流出来るのは他にはない貴重な繋がりで。

（外国語4年 嶋村汐莉）



▲ 別科生と実習生で

外国人のための日本語講座（夜学）（日本語教育実践Ⅰ・Ⅱ）

文教大学の地域連携センターが開講している実用外国語講座の一つです。越谷市周辺に住んでいる地域の外国人の皆さんに日本語を教えることで、生活に密着した日本語教育を経験できます。講座の開講時間が午後6時半からなので、通称「夜学」と呼ばれています。



◀ 書道に挑戦



◀ 修了式

夜学は、実際に活躍されている日本語教師の方のもとで教え方や教案の書き方などを学ぶことができるので、教壇に立つことや教え方に自信がない方も安心して参加できます。また、授業後に実習生と受講者の方でご飯を食べに行くこともあり、夜学を通して学内にも学外にも国籍を問わず仲間が増えます。このように、日本語教師の方や外国人の方と関わることで、とてもいい経験になると思います。日本語を教えたい、外国人とコミュニケーションを取りたい、と考えている方は是非ご参加ください！

（日文3年 豊田辰仁）

まつぶし日本語ひろば（日本語教育実践Ⅰ・Ⅱ）

2009年に埼玉県多文化共生・共栄の一環として、松伏町に日本語教室が誕生しました。これまで松伏町に住む外国人を対象に、松伏町と文教大学のボランティアが楽しく日本語を学べる教室を支えてきました。この「日本語ひろば」は毎週土曜日（10:00～12:00）に開催され、単なる日本語教室にとどまらず、さまざまなレクリエーションやお国自慢料理教室なども実施し、外国人の方々と絆を深めています。大学内では学べない新たな学びや発見・気づきが多く得られる教室です。

「まつぶし日本語ひろば」は、30分の全体会と90分の個別学習で構成されています。全体会では、各実習生が教えたい事や学習者のニーズに合わせて、自分たちで考えた活動を行います。個別学習は、学習者の困りごとに耳を傾け、共に学んでいきます。「日本語能力試験に挑戦したい」「日常生活で用いる日本語を学びたい」など、学習者の学習目的は様々です。学習者に寄り添いながら、交流型日本語教育を展開していきます。この実習を通して、日本語に対する新たな気づきがあったり、学習者の様子を直に感じたりしました。日本語教師を目指す人にオススメです。

（英文2年 井田駿希）



◀ 全体会の様子



個別活動 ▶

日本語教師として活躍中の卒業生

さくら国際日本語学院 岸岡美奈 (2020年度 日本語日本文学科卒業)

私は今、熊谷にある「さくら国際日本語学院」という所で日本語を教えています。大学時代は夜学に参加し、週2回授業実習に取り組んでいました。その時は初級を教えることが多かったですが、現在の学校では中級クラスの担当をしています。夜学との違いに戸惑うこともありましたが、学生の人数が多く皆活発で、和気あいあいとした雰囲気です。

日本語教師の魅力は、他の国の人と接することで視野が広がり、自分が成長できることだと思います。自分が知らない文化に触れたり、逆に自分にとっては普通であることが学生にとっては不思議なことであったりと日本人と接しているだけでは見えなかった部分に沢山気付くことができます。また学生からの予想外の質問に頭を悩ませ、普段使っている日本語を改めて考え直すことで新たな発見をすることもありました。授業の度にやりがいを感じるこの仕事は本当に楽しいです。



中国 深圳外国语学校 岩崎みなみ (2017年度 日本語日本文学科卒業)

「なんとなく面白そう」と日本語教育の勉強を始め、今は日本語教師として刺激的な毎日を送っています。私は中国広東省の中高一貫校で6学年の生徒に教えています。多国籍な職場で、中国人に加え、欧米諸国からの同僚もいます。授業は文化、会話、作文が中心ですが、中学1年生に50音を教えたり、日本留学を目指す生徒を支援したりもします。

この仕事の魅力は、新しい自分に出会えることです。文化背景の異なる生徒や同僚から新しい価値観やものの見方を学べたり、日本文化の奥深さを再認識したりできます。新しい発見に出会うたび、新しい自分になります。

日本語教育に少しでも興味があれば、一歩踏み出してみてください。新しい自分に会いにいきませんか？



マレーシア International Islamic University Malaysia (IIUM) ヌルアリフ ビン マレク (2018年度 日本語日本文学科卒業)

私はヌルアリフと申します。2018年度の日文の卒業生です。現在 International Islamic University Malaysia (IIUM) で日本語教師として勤めています。この大学にはいくつかのキャンパスがありますが、私が勤めている所はジョホール (Johor) 州のパゴ (Pagoh) にあります。IIUM は国際的な大学でありながら、イスラム教を中心にしています。主な言語は英語とアラビア語ですが、外国語を選択科目として学んでいる学生が大勢います。



現在、日本語を選択している学生は150人ぐらいいて、去年(2020年)より少し多いです。私たちの学生はほとんど初心者ですから、ひらがなとカタカナから始めています。そして、週に2回の授業があり、毎回1時間半だけです。時間が少ないので内容は簡単で基本的な文法しか教えることができません。それでも、学生たちは楽しく勉強しています。IIUM で日本語だけでなく、日本の文化と社会についても少し教えています。私は授業をしながら、5年間の日本での経験を話したりもしています。

現在、コロナ禍のせいで、ほとんどの授業はオンラインであるため、学生の反応が分からないので、教えるのが難しいです。そのため、学生一人一人に直接に連絡することも多いです。少し大変ですが、学生も楽しく勉強しているので、やりがいがあります。早く普通の授業に戻れるといいですね。

コロナ前の活動：お話し



●文教大学ホームページアドレス／ <http://www.bunkyo.ac.jp>

●お問い合わせ／ nihongo@bunkyo.ac.jp (日本語教育研究室)